



日刊労千葉

労千葉結成10周年!

国鉄千葉労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(労働組合)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.5.6 No.3025

次は本格的な戦いだ!

新小岩・佐倉ストの感想



新小岩支部スト参加者の決意表明

新小岩 N・K
執行委員会でストライキをやると確認した。ストライキをやりぬけたのは、今当局の攻撃にみんな怒っているからと思う。

とくに頭に来るのはJR東当局。スト終了後の帰り道、JR東当局のスト対策の連中がまだウロウロしていた。なんで奴らがでしやばつて来るのか。そればかりではなく、なにかというと貨物を差別してくる。東のやり方には、貨物の当局を含めてみんな怒っているよ。

れ、みんな辞めさせられてしまい、いつも本部のオルグでも私の名前が引き合いに出されてしまうほど私達の年代の者は貴重な存在になってしまっている。私達の年代は、青春を灰にしてカマを焚いてきた。辞めさせられた人たちは、今はわずか八万円の年金生活を強いられている。本当だった

車には影響のないストだったが、新小岩のスト突入者のなかにも強い人もいれば弱い人もいる。その人達が整然とストに入った。ストライキが終

らもっと大切にされなく

てはおかしいんだ。まさしく分割・民営化の犠牲者だ。私はそのことに心



佐倉支部スト参加者と執行部

新小岩支部 N・K
四月十七日のストライキには支部の支持に従つてストに突入しました。十六時八分、ストに突入し、スト支援の組合員と合流するとみんななつかしい顔ばかり。元新小岩支部の組合員が支援に駆けつけてくれて非常に心強くなり、熱いものが込みあがってきた。

スト突入者の発言の時も言つたけれど、五〇才以上の人人が当局にだまさ

わったあと、ある職制が「たいしたもんだ」と言つていた。当局自身も「分割・民営化はおかしい」と身につまされて思つてゐる証拠だ。出向にされた助役は「スト権がついたんだからどんどんやつて下さい」と言つていたそうだ。

しかし、問題はまだまだ山積みになっている。貨物への会社間格差もうだし、乗務停止攻撃も

いう攻撃だ。まさに「人権じゅうりん」そのものだ。仕事をするのに酒を飲んで来る人など誰もいらない。

そんな不当な攻撃にみんな怒つてゐる。清算事業団の仲間の原職奪還の闘いと合わせ、不当な攻撃には全力で闘う決意だ。

最後に各支部のみなさん。支援行動大変ご苦労様でした。

いまどくに問題となつてゐるのは、函館線事故を理由に、アルコール検査器を使って酒が入つてゐるかどうか検査する

佐倉支部 N・K
年、当局の攻撃に対し、悔しくてストライキを一回ぶちかましてやりたいと日頃から思つていた。分割・民営化されて二年、当局の攻撃に対し、悔しくてストライキを一回ぶちかましてやりたい。

それから執行部に注文だけれど、もつとこのストの意義を全体のものとしてほしい。

スト権もついたことだし。スト自身は幕張拠点のような形にはならなかつたので緊迫感がいまいちだつたけど、「やれば出来る」ということを肌で感じた。執行部も自信がついてきたと思う。

スト指令が降りてきてから職場集会、個別オルグを積みかねてきたが、やはり賃金格差、乗車証不足による広域配転、検修関係の徹底的な合理化など様々な問題がこれからも策動されているが、不當な攻撃があつたら、列車を止めるストをやらぬく。

ストの一週間前、個別オルグのなかで支部長からスト指令を受けた。

今回のストは、以前と違ひ非常に明るくやれたと思う。佐倉はちょうど正門をはさんでスト突入集会をやつた訳だけれど、みんな注目していた。楽学校帰りの高校生など、全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!